

△ケタスカブセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 イブジラスト ibudilast 【分類】 気管支喘息・脳血管障害改善剤

【単位】 △10mg/Cap

【常用量】 ■気管支喘息 20mg/日 ■脳血管障害（めまいの改善） 30mg/日 [12週の使用後効果判定]

【用法】 ■気管支喘息 1日2回 ■脳血管障害 1日3回

【透析患者への投与方法】 おそらく減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 おそらく減量の必要なし (5)

【特徴】 ロイコトリエン、PAF に対する拮抗作用および PGI₂ の作用を増強し、気管支喘息および脳血管障害に優れた臨床効果を発揮する。特に好酸球のホスホジエステラーゼ (PDE) 阻害作用を有し気管支喘息に効果を発揮する。脳血管障害に対しては PDE 阻害に基づく脳血流改善、抗血小板作用が期待できる。

【主な副作用・毒性】 食欲不振、嘔気、肝機能検査値上昇、血小板減少など

【tmax】 4hr (1)

【代謝】 主として CYP1A2 により代謝され、主代謝物は 6,7-ジヒドロジオール体と 2β,3β-ジオール体の抱合体 (1) 6,7-ジオール体の活性はイブジラストの 1/5~1/300

(1) CYP1A2 が代謝に関与する (1)

【排泄】 尿中回収率 60% で未変化体としては排泄されない (1)

【t1/2】 12hr (1) ke=0.058/hr (1)

【蛋白結合率】 97% [Alb] (1)

【MW】 230.31

【透析性】 蛋白結合率が高いため透析で除去されにくいと考えられる (5) 資料なし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 2.57×10^3 [1-オクタノール/水系] (1) 【pKa】 解離しない

【備考】 抗血小板作用があり術前 3 日前から中止 [半減期が 12hr なので 1~2 日前でもよいかも] (5)

【更新日】 20180407

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。